

◎職員数の状況

今年4月1日現在の職員数の状況は次のとおりです。昨年4月1日と比較すると、一般行政部門で15人の減、特別行政部門で3人の減、公営企業等会計部門で22人の増となっており、市全体では4人の増となっています。

◎部門別の職員数（各年4月1日現在 単位：人）

区 分	職員数 (H 28)	職員数 (H 29)	増減	
一般行政部門	議 会	6	6	0
	総務企画	183	186	3
	税 務	35	34	-1
	民 生	261	258	-3
	衛 生	58	56	-2
	労 働	0	0	0
	農林水産	31	35	4
	商 工	12	12	0
	土 木	90	74	-16
	小 計	676	661	-15
特別行政部門	教 育	120	116	-4
	消 防	176	177	1
	小 計	296	293	-3
公営企業等 会計部門	病 院	212	223	11
	水 道	34	33	-1
	下水道	0	12	12
	その他	39	39	0
	小 計	285	307	22
合 計	1,257 (1,288)	1,261 (1,288)	4 (0)	

(注) この表は、総務省地方公共団体定員管理調査によるものです。()内は、条例で定められた各部局別の職員定数の合計です。

伊賀市の

人事行政の 運営状況を



お知らせします

【問い合わせ】 人事課 ☎ 22-9605 FAX 22-9616

◎定員管理の状況

市では、平成26年度までの10年間、定員適正化計画に基づき、合併により抱えた過剰人員の削減に取り組んできました。この取り組みは、人件費の抑制効果を上げる一方で、職員の人員不足感や行政職における年齢構成の偏りを生じさせました。

そうしたことから、平成27年度からは行政改革との同調を意識した定員管理方針に基づき柔軟な定員管理をすることとし、10年間で約80人の削減をめざします。

◎職員の給与の状況（平成29年4月1日現在）

◎平均給料月額・平均給与月額・平均年齢の状況

区 分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	336,300円	416,400円	44.0歳
現業職	317,808円	353,866円	53.6歳

(注) 給与とは、基本給である給料に期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当などの諸手当を含んだもの

◎職員の初任給の状況

区 分	初任給	採用2年経過 給料月額	
一般行政職	大学卒	178,200円	190,100円
	高校卒	146,100円	154,500円
現業職	高校卒	146,100円	154,500円

◎職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

※百円未満四捨五入

区 分/経験年数	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	
一般行政職	大学卒	277,000円	314,000円	359,200円	389,800円
	高校卒	242,600円	273,900円	310,500円	362,300円
現業職	高校卒	213,700円	251,300円	282,700円	316,900円

◎特別職の報酬などの状況

市長などの特別職の給料と議員報酬の月額などは、市長が必要に応じて、市民の代表者などで構成する「特別職報酬等審議会」の意見を聴き、条例で定めています。

※期末手当基礎額の報酬月額は、20%の加算措置があります。

※教育長は、別途、扶養手当・勤勉手当が支給されます。

区 分	報酬月額など	期末手当	
		6月期	12月期
市 長	924,000円		
副市長	716,000円	1.725月	1.875月
教育長	591,500円	1.225月	1.375月
上下水道事業管理者	570,000円	1.725月	1.875月
議 長	530,000円		
副議長	467,000円	1.6月	1.7月
議 員	423,000円		

◎職員の採用と退職状況

職員の採用は、定員管理方針に基づき、行政需要の動向や退職者数などを考慮して行っています。平成28年度の退職者数と平成29年4月1日の採用者数は次のとおりです。

◎退職者数（平成28年度 単位：人）

区分	定年退職	勸奨退職	普通退職等	合計
市長部局など	19	3	28	50
消防部局	1	0	0	1
教育委員会	5	1	5	11
水道部局	0	0	0	0
合計	25	4	33	62
再任用・任期付	—	—	3	3

◎職種別採用者数（平成29年4月1日採用 単位：人）

職種	採用者数	うち女性	採用区分
事務職	4	2	競争試験
保育士	7	6	
消防職	2	0	
合計	13	8	
事務職	1	0	選考
医師	3	0	
薬剤師	1	1	
診療放射線技師	2	2	
臨床検査技師	3	3	
臨床工学技士	4	2	
言語聴覚士	1	0	
管理栄養士	2	2	
看護師	9	8	
社会福祉士	1	0	
介護福祉士	4	2	
教育公務員	3	1	
合計	34	21	
事務職	2	1	
看護師	4	4	
保育士	3	3	
技能労務職	2	1	
合計	11	9	

◎分限と懲戒処分の状況

分限処分は、公務能率を維持することを目的として、心身の故障や職に必要な適格性を欠くなど一定の事由がある場合に、職員の意に反する不利益な身分上の変動をもたらす処分です。その種類として、免職、降任、休職があります。なお、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの実績は休職処分が39件（18人）でした。

懲戒処分は、職員が法令や職務上の義務などに違反した場合に道義的責任を問うことにより、公務における規律と秩序を維持することを目的とする処分です。その種類として、免職、停職、減給、戒告があります。

市民の皆さんからの信頼を確保していくために、今後とも服務規律の遵守の徹底を図るとともに、不祥事が発生した際には厳正に対処します。なお、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの処分実績はありませんでした。

※カッコ内は、実人数です。

◎職員手当の状況（一般会計）

①期末手当・勤勉手当・退職手当

期末手当 勤勉手当	期末手当		勤勉手当
	6月期	1.225月分	0.85月分
12月期	1.375月分	0.85月分	
計	2.6月分	1.7月分	
※職務の級などによる加算措置があります。			
退職手当	（支給率）	自己都合	定年・勸奨
	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
	勤続35年	41.325月分	49.59月分
	最高限度額	49.59月分	49.59月分
	その他の加算措置		
※支給率は、平成29年3月現在のものです。			
		定年前早期退職特例措置2～20%加算	
		一般職員1人当たり平均支給額（平成28年度）	
		自己都合など	4,332千円
		定年・勸奨	19,258千円

②特殊勤務手当（平成28年度分）

職員全体に占める 手当支給対象職員の割合	23.5%
支給対象職員1人当たり平均支給年額	96,010円
手当の種類	11種類
支給されている手当：消防業務手当・夜間特殊作業手当・出勤手当（消防活動）・出勤手当（救急業務）・清掃業務従事手当（ごみ）・清掃業務従事手当（し尿）・防疫作業等従事手当・公害関係業務等従事手当・市税事務従事手当（庁外勤務）・社会福祉事務従事手当（庁外勤務）・救急救命士確保手当	

③時間外勤務手当（平成28年度分）

支給総額	376,805千円
職員1人当たり平均支給年額	470千円

④扶養手当・住居手当・通勤手当・地域手当の状況

扶養手当	配偶者	10,000円
	配偶者がいない場合の子	10,000円
	配偶者がいない場合の子以外	9,000円
	子	8,000円
	父母など（子以外）	6,500円
住居手当	借家・借間居住者	
	支給対象額	12,000円を超える額
	最高支給限度額	27,000円
通勤手当	公共交通機関利用者	
	最高支給限度額	55,000円
	自動車・バイクなど利用者	
	最高支給限度額 50km以上	29,800円
地域手当	支給率（伊賀市）	3%

◎勤務時間その他の勤務条件の状況

職員の勤務時間などは次のようになっています。

1週間の勤務時間	38時間45分	（注）上野総合市民病院や消防署などでは交替制勤務があるため、週38時間45分を基本に左記と異なる就業時間となります。
始業時刻	午前8時30分	
終業時刻	午後5時15分	
休憩時間	正午～午後1時	